

文化祭・ひろばまつり

松原地区 10/27・28



松原かわら版

世帯数 1,262戸
人口 2,984人
高齢化率 29.1%
(令和5年10月1日現在)



今後のイベントでも抽選会があるかも!? 皆さんも! 要チェックです。

松原の秋祭りに位置付けられる「文化祭・ひろばまつり」が盛大に開催されました。綿あめ・ポップコーンを提供する交流コーナー、福祉ひろばでは淹れたてのコーヒーが堪能できるなど公民館は笑顔であふれました。また、作品を多くの方に見ていただくきっかけとして、スタンプリリーを兼ねた大抽選会を開催しました。空くじなしの先着1500名を対象としましたが、余りが出ています。





町会対抗 ウルトラゲーム大会



松原では、もうひとつ秋の一大行事に「ウルトラゲーム大会」があります。以前は運動会を開催していましたが、少子高齢化のなかで、誰もが気軽に楽しめるゲーム形式の競技へと手法を変えて実施しています。

松原にまつわるクイズやパランス感覚を活かしたリレー走、明善小学校長とのジャンケン大会など全7種目で大いに盛り上がり、第10回の節目に相応しい大会となりました。



松原のデジタル化

デジタル化の波が押し寄せ、松原でもスマホを活用した事業が行われています。

松原ウォーク 9/23

秋晴れの空の下、スマホを使ったスタンラリーで公園巡りをしました。普段見慣れた景色でも、指定のスポットは実は新鮮。松原の魅力を再確認しました。



オンデマンドバスの運行

10/25

松原・寿寿台地区を中心に、14カ所で乗降が可能なオンデマンドバス「のるーと松本」の運行が開始されました。

乗りたい時に電話やスマートフォンアプリ、LINEから予約すると、他の利用者と一緒に移動できるバスで、決められた運行ルートやダイヤがないことが特徴。

松原の新たな移動手段として期待が高まっています。



がくり時計

突然ですが、みなさんに「推し」はいますか？

デジタル大辞泉(小学館)によると「推し」とは『他の人にすすめること。また俗に、人にすすめたいほど気に入っている人や物』とのこと。対象はとも幅広く、アイドルや俳優、スポーツ選手、アニメのキャラクターはもちろん、動物や乗り物まで多種多様です。その「推し」を様々な形で応援することを「推し活」といいます。

私にも「推し」がいます。中学生の娘と一緒に某K-POPアイドルを推しています。ライブがあれば遠征し、CDやグッズ集めに日々勤しんでいます。お金はかかりませんが、仕事へのモチベーションに繋がりが、メンタル面にも良い影響をもたらしてくれます。

実際「推し活」は健康に良いとされ、「推し」のいる人の方がいない人より人生の幸福度が高いといわれています。「推し活」始めてみませんか？

(編集委員)